

2 大崎圏域における観光振興施策について



仙台・宮城観光PRキャラクター
むすび丸

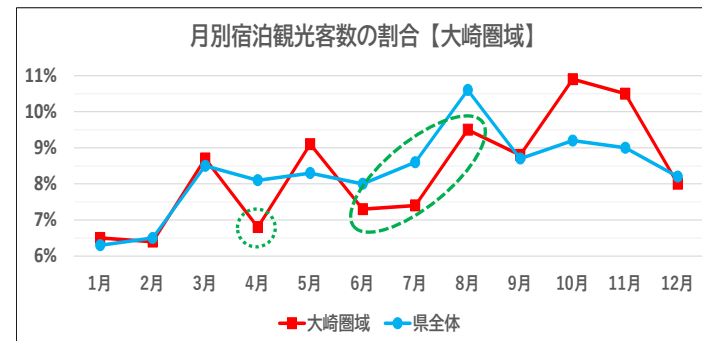
2-1. 大崎圏域での施策活用イメージ

施策1 戦略的な観光地域づくり

現状・課題

- 大崎圏域の月別宿泊観光客数の割合は、10月及び11月に県全体の数値より1.5%超高く、4月と夏季は県全体より1%程度低い
☞ 宿泊する観光客を増やすため、閑散期の誘客推進が必要
- 観光客による散策や屋外でのアクティビティなどが可能となる環境整備に対する支援が不足している
☞ 観光コンテンツの提供や整備、観光地における地域内連携に要する人手や手間、費用等に対する支援が必要

各市町が行う観光振興施策に対する側面・後方支援も実施



出典：令和5年宮城県観光統計概要

充実させたいコンテンツ・支援すべき取組の例

既存観光資源の魅力向上・情報発信や景観整備・環境保全に関する取組



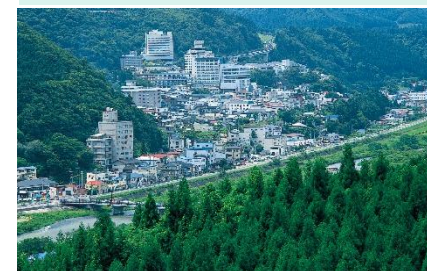
閑散期誘客にもつながる多様な体験コンテンツの利用拡大に関する取組



健康志向など新たなニーズに応える滞在環境の整備と人材育成に関する取組



外部人材活用や専門家派遣などによる観光地域づくり法人の体制強化に関する取組



- 一例として、川渡温泉の桜並木において、周辺景観にも工夫を凝らすことで観光スポットとしての魅力を高めることや、鳴子峡以外の紅葉スポット等魅力的なコンテンツの情報発信、地域が一体となって行う魅力向上の取組と、その連携体制への支援

- 四季を通じた魅力づくりのため、夏のカーヌー・SUP体験の利用拡大や、冬の星空観測ツアー、田んぼイベントなど体験プログラムの充実・造成

- 一例として、潟沼周辺の遊歩道やオルレコース等の滞在の満足度を高めるための整備のほか、エコツアーリズムなどの観光ガイドの人材育成・PR

- 持続可能な観光地域づくりのための体制強化

2-2. 大崎圏域での施策活用イメージ

施策2 周遊性向上のための二次交通対策

現状・課題

- 令和6年度観光客実態調査において、最も不満に感じた分野を「交通機関」とした回答は、県全体が9.8%だったのに対し、大崎圏域では15.3%と高い割合を示した
↳ 誘客及び周遊性向上のため、交通機関の利便性を高める必要がある
- 大崎圏域内の観光や交通機関に関する情報発信が不足しているほか、鉄道やタクシー等、二次交通が充実していないため、圏域内の周遊に支障がある
↳ 県内の主要駅や仙台空港における情報提供機能の強化や、圏域内の交通機関の利便性向上と利用促進に取り組む必要がある



ゲートウェイでの情報提供機能強化や二次交通の多様化・機能強化に向けた取組の支援を実施

周遊促進に向けた取組例

首都圏・仙台圏からの大崎地域への来訪や地域内の周遊を促すための映像コンテンツやSNSを使った分かりやすい情報発信に関する取組



- 主要駅や空港におけるインバウンドにも配慮した映像放映、SNSによる情報発信、モデルコースのガイドマップ化(デジタルマップなど)

主要駅を起点とした二次交通の選択肢拡充と機能強化に関する取組



- デマンド交通などの運行支援、乗ることが楽しめる小型モビリティ(トゥクトゥクなど)の導入検討、レンタカーの利用促進、電動アシスト付きレンタサイクルの増備等の利便性向上への支援

公共交通の利用促進・利便性向上に関する取組



- SNS等を活用したフォトコンテストの実施などによる鉄道の魅力発信や、陸羽東線などの公共交通に関し、観光利用者等の利便性向上に向けた、関係機関との連携による働きかけ

大崎圏域における観光振興施策について

事業名 アウトドアアクティビティ体験型観光コンテンツ造成事業

予算額：10,000千円

うち宿泊税：5,000千円

【事業内容】

温泉地や豊かな自然を生かした「宿泊しなければ成立しない特別な体験」を提供するアウトドアアクティビティ体験型コンテンツの造成及び宿泊地からの周遊プランの設計、宿泊地における二次交通の試行

【目的】

日帰りや通過型に留まっていたアウトドア志向層の宿泊観光客への転換や、自然体験型観光を求めるインバウンドの取り込みのため、大崎地域内の宿泊地を拠点とした、トレッキング、ウォータースポーツ、自然観察等のアウトドア体験型コンテンツの充実化や新規発掘により、当地域をフィールドとしたアウトドアアクティビティ体験を伴う滞在・周遊型観光のモデルを構築し、宿泊観光客数を持続的に増加させる。

【業務内容】

- ①グリーンシーズン及び冬期のアウトドアアクティビティ・滞在型コンテンツの造成とモニターツアーの実施
- ②周遊プランの設計、宿泊地における二次交通の試行
- ③地域関係者との連携・合意形成、観光・周遊に関する情報発信及び販売促進準備、収益循環型の事業モデルの構築、運営体制の整備
- ④実施結果やアンケート等の回答内容を踏まえた、次年度以降の商品化計画の作成

【スケジュール】

項目	春	夏	秋	冬
観光商品の造成、広報・プロモーション		ツアー造成	ツアー造成	
		広報・プロモーションコンテンツ収集		
観光コンテンツ・二次交通の検証			モニターツアーの実施・二次交通の試験運用	
			アンケート収集・検証	

御意見を頂戴したいこと



仙台・宮城観光PRキャラクター
むすび丸

御意見を頂戴したいこと

大崎圏域における観光振興施策について

○ 大崎圏域における観光振興施策に係る御意見はありますか？

例①：

大崎圏域で磨き上げていきたい観光資源・コンテンツについて、御意見をお願いします。

（例：集客力のあるコンテンツ、閑散期対策に繋がるコンテンツ、宿泊に繋がるナイトタイムコンテンツ 等）

例②：

大崎圏域における観光振興施策に対する御期待や御意見はありますか？

（例：インバウンドは、特に訪県数が多い台湾市場に絞るべきでは、造成したツアーを販売までつなげるための取組が必要 等）

御意見を頂戴したいこと

以下の3つの視点も参考に御意見をお願いします。

- 【視点①】地域の観光業が抱える課題への対応・地域の魅力創出に向けた施策など“地域”視点での検討に加え、隣接圏域等との連携による“広域周遊”の視点を踏まえ施策を検討
- 【視点②】宿泊税を納める“納税者(宿泊者)”の視点で有益な使い途施策を検討
- 【視点③】“地域経済活性化”の視点で、滞在時間が長く、消費額単価が高いインバウンドや宿泊観光客の増加に向けた施策や高付加価値化に向けた施策を検討